

普段からの準備が大切。

地震の際に、最初に行ってほしいのは「自分の身の安全を守ること」です。自分自身がケガをしてしまったり、家具の下敷きになってしまったりは周りの人たちを助けてあげることができなくなってしまうからです。そのためにも、重いものは高いところに置かないことや、家具が倒れないようにするなど身近なところから防災意識を高めていただければと思います。

▶ 防災士とは…

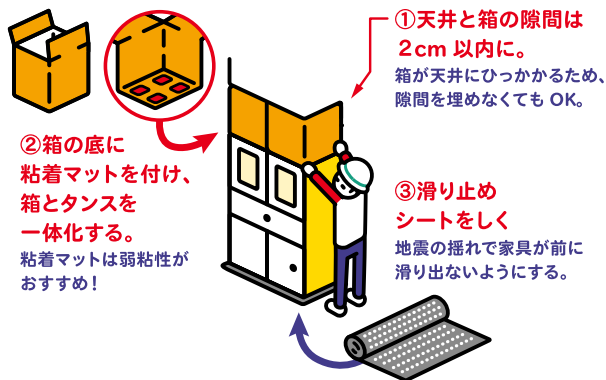
自助・共助・協働を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを日本防災士機構が認証した人のことです。



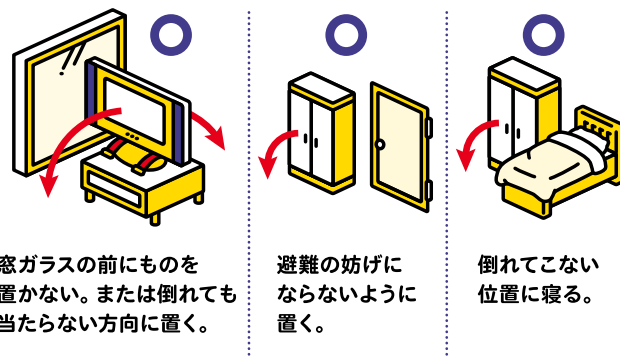
生活安全課 須田主任(防災士)

家具の転倒から身を守る

● 段ボール箱など身近な素材で転倒防止

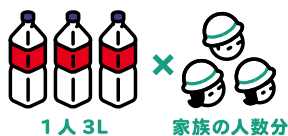


● 家具の配置の工夫



3日以上の水・食料を備蓄する

● 飲料水の備蓄量



1日1人3リットル、最低3日分、できれば7日分を用意しておく。

● あわせて、自宅近くの給水ポイントもチェックしておこう。

● 7日間備蓄を実現するための知恵

1～3日目

冷蔵庫・冷凍庫にあるものを食べる

普段から冷蔵庫・冷凍庫に食材を多めに買い置きしておく。

停電時は、クーラーボックスに保冷剤と食べものを入れて保存する。



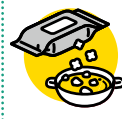
4～7日目



缶詰・レトルト食品
食べ慣れた好みのものを備えましょう。



乾麺
ゆで時間の短いものがおすすめです。



フリーズドライ食品
少量のお湯で温かい食品に。野菜もとれます。



乾物
災害時に不足しがちなミネラル・食物繊維を補給。

家族で決めておく連絡のルール



●日中、家族は離れ離れ。非常時の連絡方法は家族内であらかじめ複数決めておきましょう。

●避難場所と遠方の知人の連絡先メモ



安否情報を取り次いでくれる人
(遠方の親戚・知人)の連絡先

緊急時の家族の
避難(集合)場所

名前

電話番号

携帯番号

メール

津波や、河川の氾濫の危険がある場合は、堅固な中高層ビルや高台などに避難し、安全が確認できるまで待機する。

避難所をスマホで確認!

●自宅の危険度を知り、ハザードマップで避難所等を確認しておきましょう。



ご確認を!



緊急情報をメールで確認!

●地震や台風など防災に関する情報や犯罪・不審者などの防犯に関する情報をメールで発信します。

☎ 生活安全課

☎ 2281・2282



今すぐ登録



伊奈町 最近の災害への取り組み

災害時における物資供給等の協力に関する協定
[7月24日]

ピーアンドディコンサルティング、ユニクス、三井住友信託銀行と伊奈町の3社1団体で締結したこの協定は、大規模災害時における物資供給の協力に加え、建物や敷地の一部を災害支援拠点とすることが盛り込まれたものです。

災害時における物資供給等の協力に関する協定 調印式



平成30年7月豪雨災害被災地への支援

西日本を中心に被害をもたらした豪雨災害の被災地の復興を支援するため、伊奈ライオンズクラブの協力を得て、水や下着などを送り届けました。また、岡山県倉敷市に町都市計画課の職員を1名派遣し、現地では、家屋被害認定調査業務を行いました。



▲ 支援物資を運ぶ様子



▲ 家屋調査の様子